

学んで楽しい「延岡の歴史」講演会

有馬氏と山陰百姓一揆

今から344年前の1680年（元禄3）9月19日、有馬氏の苛政に耐えかねた山陰・坪屋の百姓1418人が、高鍋藩領内の都農に逃散するという大事件が起きました。帰村を促す有馬氏に対し、百姓は頑強に抵抗し、長引いたがために、幕府の知るところとなり、江戸の評定所で有馬氏の郡代と百姓が対決する事態にまで発展しました。しかし、ついに判決が下り、百姓側は、首謀者の磔を始め、打首・死罪・遠島など多くの犠牲者を出し、郡代は追放となりました。また、有馬氏は治政不行届きの咎で、糸魚川（新潟県）への転封となったのであります。

この一揆は、規模の大きさや藩が転封になるなど、日本史上でも代表的な百姓一揆であったといえます。

歴史と云えば、とかく殿様や武士など支配者を中心に語られることが多いと思いますが、今回は、農民など被支配者側の悲惨な生活や苦悩に焦点を当てて語りたいと思いますので、多数の市民の皆様のご参加をお願いいたします。

◆ と き 令和6年9月29日（日）

14:00～16:00

◆ ところ 延岡中小企業振興センター

入場無料（ただし、資料代200円）

≪講 師≫ 延岡ガイド・ボランティアの会

会 長 九 鬼 勉

【主 催】 延岡ガイド・ボランティアの会

問合せ先 090-1976-4927（九鬼）